

みみょうグループ



みみょう保育園
広島市南区東雲本町2-10-9



みみょう幼稚園
広島市南区段原南1-5-3



くまの・みらい保育園
安芸郡熊野町神田15-1



段原みみょう保育園
広島市南区段原南1-5-3



第二みみょうこども園
広島市南区東雲本町2-12-20



日出みみょう乳児園
広島市南区段原日出1-14-16



坂みみょう保育園
安芸郡坂町坂西2-2-12



みみょう児童クラブ
しののめ
広島市南区東雲本町1-7-6



日出みみょう幼稚園
広島市南区段原日出2-12-2



小屋浦みみょう保育園
安芸郡坂町小屋浦2-38-27

★本園含め、全11園のスタッフが力を合わせて生きる力を
持った子どもたちの育成に努めて参ります。



WELCOME TO SUIKO NINTEIKODOMOEN

入園のご案内

あそびの中に学びがいっぱい



おもちゃ作り研究チーム!



学校法人 翠光学園

すいこう認定こども園

〒739-1734 広島市安佐北区口田五丁目17-19
TEL (082) 842-2700 FAX (082) 842-2742
E-mail suiko@ceres.ocn.ne.jp

L O C A T I O N



☆バスコースのご案内
【令和6年度バス運行経路】
 現在のコースは次の通りです。送迎する範囲は、その年の利用者人数により若干異なります。また、利用状況に応じて年度の途中で変更になることもありますのでご了承ください。

- ・ハイエースバス

【1便】 園発→落合南7丁目→亀崎→八木→中筋→川内→口田→園到着

【2便】 園発→落合南3丁目→口田南8丁目→口田南9丁目→口田南7丁目→戸坂→口田南3丁目→園到着

	1号認定(従来の幼稚園)	2・3号認定(従来の保育園)
保育時間	月曜日から金曜日 8時～14時 (学期始め、季節、行事により変更することがあります。) 【預かり保育】 早朝：7時15分～ 8時 午後：14時～18時 長期休業時：8時～18時 土曜日：8時～18時	月曜日から土曜日 【標準時間認定】 7時15分～18時15分 【短時間認定】 8時15分～16時15分 【延長保育】 18時15分～19時15分
休園日	原則として土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する日 夏期休み： 7月21日～8月31日 冬期休み： 12月25日～1月 7日 春季休み： 3月21日～4月 7日	原則として日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する日、年末年始 (12月30日から1月4日)
定員数	41名	2号認定(幼児) 85名 3号認定(乳児) 54名

はじめに

本園は、幼保連携型認定こども園です。幼保連携型とは、教育機関としての幼稚園と児童福祉施設としての保育所の両方の基準をみだし、「幼児教育」と「保育」を一体的に提供する新しいタイプの乳幼児教育施設です。就労の有無にかかわらず、保護者の「子育て」を総合的にサポートします。

本園の歴史

本園は、翠光台団地開発時に地元関係者の要請を受け、初代理事長・園長松尾とし枝が、昭和51年(1976)4月に学校法人翠光幼稚園を開園しました。平成22年(1975)9月から待機児童解消の要請を受け、幼稚園の一部に保育所を併設して、幼稚園と保育所の両方の機能をもった認定こども園となり、園名も「認定こども園翠光学園」に変更しました。

更に、平成27年(2015)4月から法律改正により、「幼児教育」と「保育」を一体的に提供する幼保連携型認定こども園となったことを機に、園名を「すいこう認定こども園」としました。

すいこうの保育理念

乳幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う大切な時期であることを踏まえ、大乘仏教の「和」の精神を取り入れ、「感謝と思いやりのある、自主的な行動のとれる子」を育てることを目標としています。具体的には、乳幼児一人ひとりの心情や体力、個性に配慮しながら、あそびを中心とした生活を通して、自ら学び、考え、自主的に判断し行動する力、他人と協調、感動する心を育てていきます。

非認知能力を育んでいきます

本園の教育は、内閣府の定める「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」における5つの領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の示すねらいが総合的に構成されるよう教育・保育課程(全体的な計画)を立案し実践しています。具体的には、小学校就学前までに育つことが期待される『生きる力』の基礎となる心情・意欲・態度などが、園生活全体を通じ、さまざまな体験を積み重ねる中で、それぞれの乳幼児のなかに培われることをねらいとしており、「生活とあそび」を次のふたつの側面からとらえて、適切な指導を行っています。

1. 子どもの主体的な活動を通して、子どもたちの自主性・自発性を育んでいきます。
2. 年齢の発達に応じたさまざまな活動を通して、乳幼児期にふさわしい道徳性や生活習慣などを育み、さらに豊かな情操を高めていきます。



いろいろな行事

～幼き日々の思い出づくり～

4月

- 入園式
- 花まつり(仏教行事)
- 親子遠足

5月

- 個人懇談
- 健康診断

6月

- 保育参観
- プラネタリウム見学
- お泊り保育(年長組)

7月

- プールあそび
- 七夕まつり
- 夏まつり

8月

- 夏季保育

9月

- 敬愛参観日(祖父母参加)



芋掘り

もちつき



その他、誕生日会や園外保育があります。
(一部の行事には開催月が変更する場合があります。)

花まつり

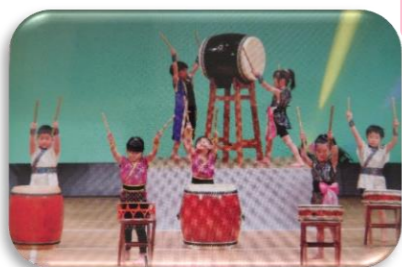


夏まつり

運動会



生活発表会



卒園式



お泊り保育

プールあそび



10月

- 運動会
- 芋掘り(年長組)

11月

- 作品展&バザー
- 交通ランド(年長組)

12月

- 成道会(仏教行事)
- もちつき

1月



- 豆まき
- 生活発表会

2月

- ひな祭り
- 卒園式

3月

すいこう認定こども園の特徴 ～一人ひとりの個性を伸ばす～

【仏教保育】

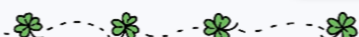
「感謝と思いやり」は、小さいときに可愛がられて人を好きになることと、反抗期を成長期ととらえて、大人から優しく接してもらうこと、そして、時に喧嘩や怪我などマイナスの体験も経験しながら、友だちと遊ぶ楽しさを感じ、人の温もりを知ることによって身につきます。また、日常生活の中で、保育者が折に触れ語る仏教保育のねらいに基づきお話、動植物とのふれあいや死に関わる体験、食育に関する活動を通して、どんなものにも命はたった一つしかなく、その命のおかげで「自分が生かされている」ことに気づき、周りの人に感謝したり、やさしく接する気持ちが持てるようになっていきます。



【運動あそび】

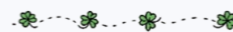
日々の保育の中に、子どもたちの発達に合わせた運動あそびを取り入れて、身体を動かすことをしっかりと楽しみ、あそびを通してバランスの良い体づくりをします。

年間を通して、幼児体育専任講師による運動あそびの指導を受け、運動用具の使い方を楽しく学びながら、何にでも挑戦してみようという気持ちを育てていきます。



【家庭との連携】

幼児教育は、家庭と園で一緒に行うのが特徴です。おたより帳やドキュメント、HP、保育参観、さまざまな行事を通して、保育のすずめ方や子どもたちの成長を知っていただく機会をできるだけ多くしています。



【地域社会との連携】

地域の子育て中の方々に園を開放し、育児に関する相談を受けたり、保護者同士の交流の場を作り、地域における乳幼児期の支援センターとしての役割を担っています。また、地域の行事への参加や老人会との交流、地元の小・中・高校生の受入など多くの人との交流は、子どもたちのコミュニケーション力の向上に役立っているものと思われま。

【造形あそび】

絵の具やパス、粘土などを使って思い思いに表現して遊ぶ中で、いろいろな感触を十分に楽しみながら、混ざり合っていく色の変化や不思議さなど、自ら発見したり感じたりする感動を大切に、子どもたちの豊かな感性と創造力を育てます。

また、アトリエと言って、いつでも描いたり、作ったりすることができるお部屋があります。時間にとらわれることなく、満足できるまであそびに取り組みながら、子どもたちが自分でイメージした世界をお友だちと協力して作り上げていくよろこびを味わい、自信をもって表現できる子どもに育てていきます。



【命を大切に】

どんな小さな生き物にも命はたったひとつ。ダンゴ虫、カブトムシなど幼虫から成虫になっていく姿、ピオトープの中でメダカやドジョウの卵を見つけ、小さなめだかを見つけたときの感動など、自然の中で、命が育まれていく様子、その大切さをあそびを通して学んでいきます。また、野菜の栽培、収穫に携わり命が大きくなり、その命を頂いて生かされていることに感謝ができる子どもに育てていきます。



【英会話教室】

英語が使える日本人の育成を目指して、小学校から英語が教科として扱われることになりました。本園では、年長組になると、月2回程度、外国人による英会話の時間があり、一緒にリズムに合わせてうたったり、簡単な会話をしたりして楽しく過ごします。小学校の先取り学習をするのではなく、いろいろな国の人がいること、いろいろな文化に出会うことを大切にしています。

【音楽あそび】

日常には、たくさんの音があふれています。子どもたちと一緒にいろいろな音探しをしながら、音楽への興味関心を高めていきます。

音楽は、子どもたちにとって自由な感情表現の手段であり、友だちや保育者、家族とコミュニケーションをとるためには大切なものです。友だちと心を合わせて歌ったり、楽器を演奏したりすることで、豊かな感性が育まれていくことを願っています。



0さいからのつながり 赤ちゃんの時から関わりが年長さんの姿へとつながっているのです。

赤ちゃんの頃

一人の人格を持った人として接しながら、一人ひとりの思いを察し、心を馳せていきます。大人と一緒に喜び合うことで大人への信頼感と期待感を持った赤ちゃんに育てていきます。



1歳の頃

大人への信頼感と期待感を持った子どもたちは、安心して、探索活動を活発に行うようになります。目が離せなくなりますが、探索活動を制止することなく存分に楽しませてあげることで「なんだろう」「やってみよう」という意欲を持った子どもに育てていきます。

2歳の頃

探索活動を通して、自分以外の人や物を認知し、自我がはっきりしてきます。この時期の自我を「成長期」と捉え、しっかり気持ちを受け止めて、受け返してあげることで、相手の気持ちを理解しようとする優しい心を育てていきます。



3歳の頃

思いをしっかり受け止めてもらい、楽しい経験をたくさん積んでいく中で、友だちと一緒に楽しみたいと思うようになります。あそびの中で、周りの大人に共感してもらったり、褒めてもらったりすることで自己肯定感を育てていきます。

4歳の頃

自己肯定感を持った子どもは、自らの興味を広げ、意欲的に遊びます。そのあそびを通して、自分の思いを友だちに伝えながら、友だちの意見も聞き、協力すること、一緒に遊ぶことの楽しさを感じていきます。



5歳の頃

赤ちゃんの頃から育まれた大人への信頼感・期待感などがベースとなり、何にでも意欲的に取り組み、その中で、考えたり、工夫したり、調べたり、最後までやり遂げたりなど文部科学省が幼児期に育てておきたい10の姿を持った子どもへと育てていきます。すいこうの子どもたちは、何かができる子どもではなく、何かがしたくていつもわくわくしている子どもなのです。

すいこうの教育

～ 楽しいあそびの中で育む「生きる力」～

驚きと感動を共に

たくさんの友だちと一緒に、何かしたくなる環境の下、驚きと感動を味わいながら、「もっと遊びたい」という意欲を高め、多くのことをあそびを通して学んでいきます。



赤ちゃんだってやってみてほしい!!

2歳児さんだって、はさみを使えるよ

楽しければ、赤ちゃんたちだって、寄ってくる



集団の中で自己発揮

仲間と一緒に考えたり工夫していく中で、「協調性」「忍耐力」「粘り強さ」「自己調整力」などの生きる力を実体験を通して身につけ、自信をもって自分を表現し、挑戦する力を育てていきます。



お水を流すといいんだよ

畑に野菜の種をまいたり、苗を植えたりします



大きくなあれ!おいしくなあれ!と願いを込めて...苗を植えます

食育の推進

園庭の小さな畑で大切に育てた季節のお野菜を自分たちで収穫したり、クッキングをして、美味しくいただくことで、「命の尊さ」や「食育」への関心を高めていきます。



年長のお当番さんは、給食のお手伝いもします

おくらも食べごろ!



対話をとおして

すぐに大人が教えたり答えをだしたりして解決するのではなく、仲間や保育者と一緒に考え、人と対話し相手の思いを聞いたり、自分の思いを伝えたりしながら、解決し乗り越えていくことを大切にします。



こどもかいぎ 思ったことは言っているんだよ

何が入っているのかな

ほら!あそびにやごがいるよ。

きらきらきれいだね

